

所信表明

6月10日に開会した令和7年第2回市議会定例会において、大西賢治市長が所信表明を行い、市政運営の考え方や方向性を示しました。

昨今、世界経済は過去に類を見ない混乱の中にあり、我が国の政治や経済情勢、そして地方自治を取り巻く環境は、深い霧に覆われた状況が続いております。

しかしながら、本市には法皇の山並みに育まれた森林や豊かな水の恵み、ダムと港湾と共に発展してきた紙産業クラスターや研究・教育機関、四国8の字ルートの結節点を有する高速道路網という、困難や逆境をはねのけ、四国の真ん中「なか四国圏」の新たな可能性を切り拓く力と、十分なポテンシャルがあります。

私は市長として、このまちの魅力を最大限に引き出し、全国へ、そして世界へと発信しつつ、「市民の皆さまと共に、子どもたちと共に四国中央市の明るい未来を創っていく」。そのように決意しております。

市政のかじ取りを預かるに当たり、「市政善進」をスローガンとして掲げ、「健善颯新」、「児童歓待」、「廃県置州」という3つの信条の下に7つの政策の柱を立て、戦略を定めました。

どれも一朝一夕に実現し得るものではありませんが、「このまちに生まれてよかった」と思ってもらえるよう、「子どもたちの心に投資する」ことを土台として、全力で市政運営に取り組んでまいります。

政策の推進に当たりましては、私の座右の銘である「逆風満帆」の精神の下、本市特有の地域資源と今日までの行政経験を活かし、議員の皆さまのお力をお借りしながら、市民の、市民による、市民のための市政を目指し、過去に類を見ないと思われるこの難局を乗り越えてまいります。

信条1 健善颯新

健全で善良な市民自治を目指し、市政運営を清らかに新しくするために、**公平公正で折り目正しい市政運営**を行います。合わせて、職員が生き生きと働ける職場環境を整え、笑顔と活気ある市役所づくりを進めます。

信条2 児童歓待

全ての市民が子どもたちに「生まれてきてくれてありがとう」という思いと真心をもって育てていくために、**「子どもたちの心に投資する」ことを土台に、子どもたちの夢を応援**するとともに、子ども目線の支援制度を創設します。

信条3 廃県置州

合併当時の道州制の議論の中で、四国州という将来像を描いた市民の期待を背負い誕生した四国中央市の原点へ回帰し、**隣接自治体との連携を通じて、「四国はひとつ」を牽引するまちづくりを推進**します。また、災害時の広域拠点となることを目指します。

四国中央市長

大西賢治



大西市政7つの柱と戦略方針

01 子育て・福祉・健康

地域の中で共に子どもを産み育て、地域の大人が幼児に引き出される善性によってつながり、健やかに幸せを分かち合えるまちを目指します。

戦略方針

▼産前・産後ケアや子育て支援ネットワークの強化▼子どもの居場所づくり▼障がい者や高齢者施策の充実▼介護予防による健康寿命の延伸▼誰ひとり取り残さない生活支援体制の整備

02 教育・文化・芸術

誇り高き先人からの学びを基礎とし、多様性と包摂性の下で磨き合う気風を高め、次世代の可能性に繋がられるまちを目指します。

戦略方針

▼義務教育の最適化と高等教育機能の再構築▼発達支援や不登校対策と最適共育の推進▼芸術・文化振興▼教育DXの推進や中学校の在り方の検討

03 産業・経済・DX

紙漉きの原点と無限の可能性を探求し、企業の技術革新と雇用の多様化を支援することで、AIあるスマートシティを紙からひねり出すま

ちを目指します。

戦略方針

▼創業・起業支援やCNFなど新たな産業の開拓▼生成AI用データセンターの誘致▼女性が輝くコト・モノづくり支援▼地域産業の人材確保・定着

04 シティプロモーション

オフィスのペーパーレスを超越するコト・モノづくりで、暮らしに寄り添う紙のまちのブランディングに磨きをかけ、シビックプライドを高めるまちを目指します。

戦略方針

▼「書道パフォーマンス甲子園 in EXPO」の開催を契機とした文化の世界展開▼紙産業の力を活かした新規事業の可能性の模索▼真鍋淑郎博士の顕彰▼魅力ある人材の発掘や移住・定住の促進

05 地域・自然環境・観光

地域のつながりを基盤として生活環境やふるさとの自然環境と共生し、循環型社会を追求しながら持続可能な進化系日本一の紙のまち、ス・アルファを目指します。

戦略方針

▼地域コミュニティの再生に向けた市民との対話▼公民館・交流センターの在り方の検討▼脱炭素社

06 都市基盤・安心安全

会への挑戦や山林資源の活用▼自然環境の保全・魅力発信や低山観光の推進

戦略方針

▼生活道路や幹線道路の整備促進▼社会インフラの安心・安全確保▼ハイブリッド型避難所運営の推進など防災・減災の強化▼地域公共交通の再構築や移動・買い物支援▼官民連携による空き家・空き地の適正管理と有効活用

07 広域圏・行財政

浄財を有効活用するための行財政改革や入札制度の見直し、行政DXの推進によって、足腰の強い財政基盤の確立を図ります。

また、東予地域の自治体間の連携を深めるとともに、「四国はひとつ」の理念の下、隣接4県の周辺自治体間の相互交流を活性化し、「なか四国圏」としての広域連携と協調を進めます。

7/1 新組織が始動

大西市政第1期目のスタートに当たり、組織機構を一部見直し、経済部に「四国はひとつ課」と「山おこし課」を設置しました。

経済部 四国はひとつ課

四国4県の県境をまたぐ隣接や周辺の自治体が交流を深め、「なか四国圏」として連携・協調しながら、「四国はひとつ」の実現を目指すまちづくりを推進します。

問 四国はひとつ課 28-6168

経済部 山おこし課

土居三山（東赤石山・ニツ岳・赤星山）や金砂・富郷・新宮、切山などの山岳観光を推進し、中山間地域の振興と魅力の発掘・発信を通じて、地域活性化や自然と共存する山おこしを目指します。

問 山おこし課 28-6169